

22 世紀八幡ルネッサンス運動 (略称：八幡ルネ) 企画作業チームニュース

ひるば

八幡市民の幸福の増進のために活動する。古い歴史を有する八幡の秀でた伝統を継承し、八幡市民の総意と英知を結集して活動する。町の隅々にわたり高い関心を払い、たくましい意志と情熱を貫いた粘り強い行動で、光とうるおいある生活と文化を享受するように努める。

■発行：22 世紀八幡ルネッサンス運動  
企画作業チーム ひろば編集部  
■事務所：八幡市八幡高畑 10-76  
TEL/FAX075-981-6505  
090-3710-4842  
■橋本連絡所：八幡市橋本興正 7-4 075-971-9488  
■男山連絡所：八幡市男山指月1-12 080-3780-6140  
■八幡連絡所：八幡市八幡土井135 竹島文化2F13号  
080-3775-8133  
■振込口座：京都中央信用金庫八幡支店  
普通 5243582  
22 世紀八幡ルネッサンス運動

新年のごあいさつ

あけまして

おめでとつございます

22 世紀八幡ルネッサンス運動 (以下、八幡ルネ) と NPO 法人 22 世紀八幡ルネッサンス協会 (以下、NPO 八幡ルネ協会) は、この一年、八幡の街、大谷川、中ノ山墓地清掃活動と、「ひろば」「事務局便り」「ぎずな」の 3 紙誌を発行してまいりました。今年は活動を始めて 29 年目になります。

昨年の 12 月 13 日には、2 年ぶりとなる「八幡さんクリーンアップ大作戦」を実施し、溝の落ち葉や土砂など、土のう袋にして 329 個を回収しました。一の鳥居近くの溝は、土砂が固くなって取り出すのに苦労しました。

昨年の夏は、史上最も暑い年として記録され、話題にさらされてきましたけれど、気候変動対策の遅れが突き付けられた年になりました。日本周辺の海は気温が上昇し、潮流も変化し、漁業関係者はその変化に翻弄され、苦しんでいます。季節は四季から二季に替わったと、多くの人が肌で感じています。

11 月にブラジルで開かれた COP30 (国連気候変動枠組み条約第 30 回締約国会議) は、国際連携の足並みが乱れ、瀬戸際の COP を立て直せという論調も生まれています。化石燃料からの脱却だけでは多くの国が賛同にまわったものの、産油国などの反対で合意が得られませんでした。

COP30 に参加する環境団体「気候変動ネットワーク」は、地球温暖化対

策に後ろ向きな国に贈る「化石賞」に日本を選びました。ヨーロッパ各国首脳は COP に参加しましたが、パリ協定脱退のアメリカに合わせるように高市首相は欠席し、日本の気候変動対策の取り組みに懸念が生まれています。改めて政府の責任だけにとどまらず、各団体や個人においても、自分たちの役割や行動について考える機会ではないかと思っています。国連のグテーレス事務総長は「交渉に費やされる時間はもうない。対策の実施、実施、実施しかない」と必死に訴えています。

「排出量は 35 年に 19 年比で 12 % 減少する見通しだが、上昇を 1・5 度に抑える目標達成には 19 年比で 60 % の減少が必要だ」(国連環境計画 UN ETO) と、現状を分析しています。

高市首相は国会で台湾有事をめぐる「存立危機事態」を指摘し、すぐさま中国から内政干渉だと強い批判を浴び、急速に日中関係は悪化しています。日本の軍事費の大幅な増大は、戦争の放棄を明記している憲法から見ても穏やかではいられません。世界各地で緊張と対立が高まり、平和を望む動きとは反対の動きが強まっています。私たちはこうした無謀な戦争をやめさせる立場に置かれている状況に生きています。

エコとふれあいつなげるミライ  
環境ふれあいひろばへ

『環境ふれあいひろば』は、楽しみながら環境について学べる環境学習施設として、令和 6 年 7 月、宇治市内にオープンしました。

入口で迎えてくれるのは、不要になったプラスチックのおもちゃなどで

作られたリサイクルアートの「フェニックス」。捨てられるはずだったものが、アートとしてよみがえる姿に、資源を大切にしている心が自然と芽生えます。展示コーナーでは未来の地球のために「ごみを減らすヒント」を探してみましよう。日常生活でできる小さな工夫など、知ればすぐに実践できるアイデアが満載です。

さらに、まだ使える品を必要な人につなぐリユースコーナーを常設。ご家庭で不要になったものがあれば、ぜひお持ちください。誰かの不要品が、別の誰かの宝物になる——そんな循環をここから広げていきませんか。併設するごみ処理施設「クリーンパーク折居」も予約不要で見学可能。普段はなかなか見ることのできないごみ処理の現場を間近で体験でき、私たちが捨てた可燃ごみのゆくえを学べます。

また、楽しくエコとふれあえる体験教室なども随時開催。環境にやさしい暮らしを学ぶワークショップや、廃ガラスや古い着物、布を使つての作品づくりなど、楽しみながら学べるプログラムが充実しています。授乳室やキッズコーナーも完備しているので小さなお子様連れでも安心です。

城南衛生管理組合

環境ふれあいひろば

【利用時間】9 時～17 時 (入場無料)  
【休日】月曜日 (祝日の場合はその翌日)、年末年始  
【アクセス】所在地：宇治市宇治折居 18 番地自動車：京都府立山城総合運動公園 (太陽が丘) 正面ゲート南約 300 m 電車・バス：京都京阪バス白川峠下車徒歩 5 分または、太陽が丘ゲート前下車徒歩 15 分

未来のために、今日からできることを一緒に考えてみませんか。

※城南衛生管理組合は、宇治市・城陽市・八幡市・久御山町・宇治田原町・井手町が環境廃棄物行政の推進のために作る特別地方公共団体 (一部事務組合) です。



大谷川清掃レポート

2025・12・28

トマト

トマトは、南アメリカのアンデス山脈の高地に野生する多年草で、世界中で栽培されるナス科の野菜です。インディオ達に栽培され、17 世紀初め江戸時代に日本に輸入されましたが鑑賞用で、明治後期に野菜として栽培されるようになった一年草です。古くは中へ

地球温暖化と人類の滅亡(4)

中村たかし

地球温暖化によって私たちの生活環境が大きく変化していく中で、その被害を最小限に抑え、次世代へ持続可能な環境を引き継いでいく為に何が必要でしょうか。行政・企業・市民それぞれが問われている役割を検証します。

1. 行政が行うべき役割
- 1) 法制度と政策の強化

・温室効果ガス削減目標を法制化し、各分野で具体的な計画を推進。

・炭素税や排出量取引制度を導入し、低炭素社会への転換を加速。

・再生可能エネルギー導入支援や電力網の整備を推進。

2) 都市インフラ・防災対策の強化

・河川改修、堤防強化、排水システムの改善などで水害対策を実施。

・ヒートアイランド現象への対応として、緑地・屋上緑化・遮熱舗装を推進。

3) 教育と意識啓発の推進

・学校教育や地域講座で気候変動について学ぶ機会を拡大。

・環境配慮企業や地域団体を表彰・支援し、社会全体で意識を高める。
2. 企業が行うべき役割

1) 事業活動の脱炭素化

・再生可能エネルギーの導入を推進。

・省エネ設備、高効率生産プロセス、リサイクルの導入。

2) サプライチェーン全体での温室効果ガス削減

・物流効率化、資源循環の促進、間接排出削減。

3) 環境情報の開示と社員教育

・ESG・TCFD報告を通じた透明性の確保。

・社員研修を通して環境意識を浸透させる。

3. 市民が行うべき役割

1) 省エネ・エコな生活習慣

・冷暖房の温度調整、LED照明、節電型家電の活用。

・自転車や公共交通の利用、エコカー・EVの導入。

2) 食生活とごみ削減

・地産地消、フードロス削減、リサイクルの徹底。

・使い捨て製品を減らし、再利用・再資源化を推進。

3) 環境に配慮した消費行動(エシカル消費)

・環境負荷の少ない商品や企業を選ぶことで、社会全体の流れを変える。

4. 共通の方向性

「緩和」と「適応」の両輪で温暖化防止に取り組むことが重要。

行政が制度を整え、企業が技術と資金を提供し、市民が日常生活で支える協働が、地球温暖化の被害を最小限に食い止めるキーになると思われる。

◀ 国名の「蕃茄(ばんか)」と書かれることもありました。「トマト」という日本での呼び名は、英語の「トマト(tomato)」に由来します。

英語の「トマト」はメキシコ先住民の「トマトウル」の呼び名に由来します。「トマトウル」は、もともとは「ホウズキ」を指す言葉だったようです。そのため、ホウズキの実の色や形、大きさに似ていたことから、「トマトウル」という名が定着し、英語で「トマト」となったようです。

トマトは夏が旬ですが、冬でも出回っています。暖かい温室で栽培すれば、実をつけるものなのでしょう。

か。

実をつけるためには、花が咲かなければなりません。多くの植物の花は、昼と夜の長さの変化によって花を咲かせます。

しかし、トマトは昼と夜の長さに依存することなく花を咲かせます。ある大きさになると、花を咲かせる性質をもっています。花が咲いても受粉が必要です。冬の温室の中にはハチやチョウはいません。そこで、セイヨウオオマルハナバチというハチを人為的に放したりします。温度が低くても活発なハチだからです。このハチは、「特定外来生物」に指

定されていて、温室から逃げ出すと日本の生態系に影響を与えることとなります。

温室栽培でも、果実を実らせるために「花粉がつく」ことなく果実を肥大させる方法があります。「オーキシン」という実を肥大させる物質を与える方法です。オーキシンを与えて果実を肥大させると、受粉で果実ができるわけではないので、タネはできません。

タネなしのトマトができる場合がもう一つあります。花の中で、受粉や受精がおこらなくても果実が自分で大きくなる性質です。「単為(た

んい) 結実」、あるいは「単為結果」と呼ばれています。

現在では、このような性質を持つ品種が開発されて、タネや苗が市販されています。

◆12月7日、第118回舞台・盛戸大谷川清掃は、3名の参加で土嚢袋換算で14袋回収しました。

◆12月28日、第201回山路大谷川清掃は、9名の参加で土嚢袋換算で114袋回収しました。

【第202回山路大谷川の清掃のご案内】

■日時：2026年1月25日(日) 午前8時半〜11時(雨天中止)

■集合：旧あずま屋

(コノミヤ裏八幡源氏垣外)

※会場設営にご協力いただける方は、集合時刻の30分〜1時間前に現地にお集りください。

※用意して頂く物…厚手の手袋。その他の必要な物は用意します。

《主催》NPO法人22世紀八幡ルネッサンス協会

連絡先：八幡市八幡高畑10-76  
TEL 075(981)6505  
携帯 090・3710・4842

【福田英正さん逝去】

八幡ルネの呼びかけ人である福田英正さんが9月3日、82歳で亡くなりました。謹んでお悔やみ申し上げます。

福田さんは大谷川の清掃などに参加し、宴席には欠かせない存在でした。

八幡ルネの一泊旅行で熱弁をふるっていた姿が印象に残ります。